

令和7年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価 (地域公共交通計画に基づく事業)

令和 7年12月19日

協議会名:	大島町地域公共交通活性化協議会
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回 (又は類似事業) の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
大島旅客自動車株式会社	<p>大島公園ラインを運行 計画運行回数 3467.5回 系統 元町港～大島公園 19.3km</p> <p>波浮港ラインを運行 計画運行回数 3467.5回 系統 元町港～大島陸上競技場 18.2km</p>	- (新規事業のため該当なし)	B 事業は概ね計画通り実施できたが、災害等のやむを得ない事由により、計画通りの年間運行回数は確保できなかった 実績運行回数 大島公園ライン 3463.5回 波浮港ライン 3464.5回	B 事業が計画に位置付けられた目標を達成できていない点があった。 ・計画内の利用者数目標値16.1万人/年を超える17.1万人/年を達成したが、高校生等の定期利用者数目標値は達成できなかった。 目標値 2.5万人/年→20,750人/年 ・R6年度と比較して1%以上の収支率の改善を達成したが、目標値は達成できなかった。 目標値50% R6 37.9%→R7 39.6%	利用者数は増えているものの、町内における定期利用者数は年々減少傾向にある。バスの利用促進を図るべく、引き続き町内イベントに参加、乗り方手帳の配布、主な定期利用者である高校生を対象としたアンケート等を実施し、公共交通の認知度向上を図るとともに、補助金を活用し系統の維持・改善に努める。
地方運輸局等における 二次評価結果 (関東運輸局)	<p>目標は未達ではあるものの、事業を適切に実施し、前年度を超える利用者数、収支率を達成されていることを評価する。 収支率については、その数値目標を達成することのみを意識するのではなく、地域にとって必要なサービス水準を設定したうえで、必要なサービス水準に対して妥当なコストであるか、提供しているサービスの利用状況に対して需要に合ったものとなっているかを確認した上で分析することが望ましい。</p>				